

# 浮世絵に見られる橋梁に関する データベースの作成

信州大学工学部	学生会員	○金子 浩司
信州大学大学院	学生会員	山本 太郎
信州大学工学部助教授	正会員	清水 茂

## 1. はじめに

江戸期の橋梁架設技術の進歩や橋詰広場の実体の変化を知るうえで、江戸期の橋梁の変遷についての調査は重要である。

橋梁の変遷を調べる上で、当時の橋梁に関する各情報をデータベースに管理し、必要に応じて自由に検索できると、大変便利である。そこで、我々はさきに、古地図、東京市史稿（橋梁編）等の参考資料より、江戸市内の橋に関する情報を抽出してデータベースを作成した<sup>1)</sup>。

ところで橋梁の変遷を調べるとき、その時代時代の様子を視覚的に比較することは有効である。そこで、本稿では、文献1)に引き続き、橋の描かれた浮世絵<sup>2)</sup>より、江戸期の橋に関する情報を抽出してデータベース化をはかることにした。これは、当時の様子が克明に描かれている浮世絵に注目し、これをデータベースで管理して研究に用いようとするものである。

このデータベースは、橋の周辺状況、構造、立地条件、浮世絵に関する情報等について、データの整理、構築を行ったものである。また、あわせて、主要な検索が容易に行えるような検索システムを作成した。このシステムは浮世絵に描かれている橋梁の中で、ある特定の条件に該当するデータのみを検索するものであり、このシステムを使うことによって江戸期の橋梁の変遷について様々な考察とともに調査を有効に行う事ができる。

## 2. データベースの構造

情報の抽出は、表-1に掲げた事項を中心に行った。

これらのデータを用いて「浮世絵」、「所在」の内容ごとに別個に2種類のデータベースを作成した。このようにデータベースを分割することによって、例えば異なる複数の絵で描かれている橋の場所が同一である場合のように、同一の橋に関する情報が複数出現するとき、共通のデータの重複を防ぐことができる。また、同じ各橋ごとに固有の標識となるキーをつけておき、複数のデータベースにまたがったデータが容易に取り出せるものとした。

## 3. 検索システム

表-2は、このデータベースの検索内容の一例である。

本システムでは、表-2の検索内容について、それぞれ単独での検索、組み合わせでの検索を可能にした。

検索を行う際、このシステムはまず該当するデータの数を表示し、その後、必要に応じてデータの内容を

表-1

データの種類	抽出したデータの内容
浮世絵に関して	年代、浮世絵名、作者名、橋の主体性、橋の周辺状況 等
橋の所在に関して	橋の名前、所在、河川名、河川の規模

表示するようにした。

表-2

#### 4. データの検索例

図-1、図-2は実際にこのデータベースを使って検索を行った際の画面表示の例である。ここでは図-1で「1700年から1850年まで近くに大きな街のある板橋の描かれている浮世絵」を検索することを指示している。その結果として得られた情報として検索件数、検索された情報の表示を行う。図-2は情報表示の一例である。

#### 5. おわりに

今回作成したデータベースは、現在の時点では入手し得る情報全ての入力が完了したわけではなく、その意味でデータ量が不足していることは否めない。今後の課題としてデータの充足、及びその他の参考資料によるデータの追加等によってデータベースを充実させること等が必要とされる。

完成後は、このデータベースは橋梁技術の進歩、橋詰の変遷等の橋梁史の研究に活用できるものと思われる。

検索内容	検索例
年代	西暦：西暦“1700”年から“1850”年までのデータの検索 江戸年号：“天保”年代のデータ検索
浮世絵名	“浮繪東都兩国橋夕涼之図”の絵のデータ検索
絵師名	“葛飾北斎”の描いた絵のデータ検索
橋の主体性	橋を“主体”として描かれている絵のデータ検索
橋の種類	“板橋”である橋の描かれている絵のデータ検索
橋の周辺状況	周辺状況1：橋の近くに“街”が描かれている絵のデータ検索 周辺状況2：橋の背景が“城”である絵のデータ検索 周辺状況3：橋が“河”をまたいでいる絵のデータ検索 橋の大きさ：橋の規模が“大きい”絵のデータ検索 橋上の人との数：橋の上の人の数が“多い”絵のデータ検索 etc.

このほか、橋名、地名、河川名は文字入力により、それに関連した絵のデータ検索を行う。

浮世絵に関する検索 西暦 作者名による検索 橋の大きさ 橋の主体性 所在に関する検索 河川名による検索	1700年から1850年まで	橋の周辺状況による検索 橋の種類について 川の規模 周辺状況1 周辺状況2 周辺状況3 街 村の大さき 橋上の人との数 舟の数 天候 時間帯 季節
周辺状況1：橋の付近の建物、及び集落 周辺状況2：橋の背景になっているもの 周辺状況3：橋が跨いでいるもの	Y/N	
これで検索してよいのですか？ Y/N		

図-1

あと2データです 浮世絵名 作者名 橋名 橋の種類 橋の主体性 年代 西暦 絵の種類 絵の大きさ 参考文献 橋の所在 地名 河川名	東海道五拾三次之内日本橋朝之景 歌川広重（初代） 日本橋 板橋 天保4年 1833年 版画 人間 ヒュアルブック江戸東京2 岩波書店 岩波書店 日本橋 東京都	橋の周辺状況 橋の大きさ 周辺状況2 周辺状況3 街、村の大さき 橋上的人との数 舟の数 天候 時間帯 季節	中東街河大多 晴朝
--	--	---	--------------

図-2

1) 清水、山本、西尾：土木学会中部支部研究発表会講演概要集 PP523. 1994. 3

2) 北斎美術館 4. 名所絵：集英社

ビジュアルブック江戸東京 2. 浮世絵にみる江戸名所：岩波書店